

日本消防



- 第25回全国女性消防操法大会・激励交流会（東京都）
- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！
- 災害報告 秋田県秋田市消防団

□ 絵 第25回全国女性消防操法大会・激励交流会
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！

巻頭言 「『温故知新』—時代を越えて守るものと時代に合わせた取組み—」

..... (一助)岡山県消防協会 代表理事 永井 秀一	1
日消の動き 新日消会館、完成後もいろいろ	(公助)日本消防協会 会長 秋本 敏文 3
第25回全国女性消防操法大会 東京臨海広域防災公園で開催！	(公助)日本消防協会 4
第25回全国女性消防操法大会「激励交流会」開催	(公助)日本消防協会 13
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介	(公助)日本消防協会 16
特別表彰「まとい」を受賞して 「安全・安心なまちづくりのために」 福岡県 糸島市消防団 団長 三島 広幹	20
東西南北 (佐賀県) 「安全で安心して快適に暮らせるまち」を目指して 佐賀市消防団 団長 吉村 勝則	22
東西南北 (鳥取県) 「地域の安心安全のために」	琴浦町消防団 団長 野間田 世治 24
東西南北 (静岡県) 「常にアップデートする消防団を目指して」	清水町消防団 団長 山本 俊洋 26
シンフォニー (滋賀県) 「第24回全国女性消防操法大会出場～新たな挑戦」 高島市消防団 女性分団 分団長 山内 陽子	28
シンフォニー (熊本県) 「消防団員としての決意を胸に」 津奈木町消防団 平国女性分団 分団長 三ツ石 ひとみ	30
災害報告 「令和5年7月豪雨」秋田市消防団の活動について 秋田県秋田市消防団 団長 永澤 靖雄	32
消防団の現況	(公助)日本消防協会 36
令和5年度(第23回)「防火防災に関する」作文コンクールの審査結果について (生協)全日本消防人共済会	38
津波による被害の防止	総務省消防庁 防災課 40
女性防火クラブの活動の紹介と参加の呼び掛け	総務省消防庁 地域防災室 41
11月9日は「119 番の日」 正しい119番緊急通報要領～いざという時に慌てないために～ 総務省消防庁 防災情報室	42
うちの名物団員	北海道、静岡県、滋賀県、岡山県、佐賀県、熊本県 43
消防団の広場(北海道) 「防災を当たり前」	日高消防団 副団長 三上 博司 46

編集後記

表紙写真説明

「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」

佐賀市嘉瀬川河川敷では、毎年10月下旬から11月上旬の5日間、世界各国から100機を超えるバルーンが参加し、アジア最大規模の国際熱気球大会『佐賀インターナショナルバルーンフェスタ』が開催されます。たくさんのバルーンが一斉に離陸する様子は圧巻で、毎年多くの観光客が訪れます。

写真提供者：佐賀県佐賀市

第25回全国女性消防操法大会・激励交流会

令和5年10月20日(金)、21日(土) 於 東京都(江東区有明)

(4頁～15頁に掲載)



ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 好評放送中！

(公財)日本消防協会

(16頁～19頁に掲載)



令和5年
8月放送分に出演の
榎野智章さん

令和5年
9月放送分に出演の
青木 愛さん



令和5年
10月放送分に出演の
蝶野正洋さん

巻頭言

『温故知新』

一時代を越えて守るものと時代に合わせた取組み一

(一財)岡山県消防協会 代表理事 永井 秀一



近年、異常気象による災害が相次いでおり、今年も梅雨前線による大雨や迷走する台風、線状降水帯による集中豪雨が引き起こした河川氾濫や土砂崩れ等によって、多くの尊い命が奪われました。お亡くなりになられた方々を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

また、被災され今なお不自由な生活をおくられている皆様に、お見舞い申し上げますとともに、一日でも早く平穏な日常が戻りますことを心より願っております。

日頃より、日本消防協会、各都道府県及び各県消防協会の皆様に大変お世話になっておりますこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、此度二度目となる『日本消防』巻頭言のご依頼を受け、前回の巻頭言(2019年4月号)を読み返してみました。

当時は、西日本を襲った『平成30年7月豪雨』で甚大な被害が発生した翌年ということもあり、日頃からの備えや被害を想定した訓練の大切さ、地域内ネットワーク《近隣住民のコミュニケーション》が被害を軽減する有効な手立てであること等、今後の意気込み、想いを寄稿しておりました。その想いを今に反映できているのか反省すべき点もありますが、岡山県消防協会の代表として、また地元消防団を束ねる団長としての責務を果たすべく、なお一層精進してまいります。

1 岡山県について

全国的には認知度が低めの岡山県ですが、少し紹介させていただきます。

岡山県は、降水量1mm未満の日数が全国1位と晴れの日が多く『晴れの国 おかやま』を県の標語としており、その温暖な気候を活かして全国有数の質の高い農業が営まれ、清水白桃、マスカット、ピオーネは栽培面積、品質とも全国一を誇っています。

また、ものづくりは、県下最大の水島工業地帯で、石油精製・石油化学、鉄鋼、自動車(三菱自動車系列)などの関連企業によるコンビナートが形成され、幅広い分野の第2次産業が盛んです。

※岡山県の人口は約185万人(全国20番目)、
総面積は7,114.77km²(全国17番目)

2 岡山県内の消防団・消防本部と岡山県消防協会について

岡山県には27の市町村があり、27の消防団に25,059人の消防団員と14の消防本部に2,529人の消防職員(何れもR5.4.1現在)が在籍しており、住民の安全と安心を守るため、日夜、消防防災活動に携わっています。その団員、職員を支えるため岡山県消防協会は互助・共済事業、消防思想の普及、消防技術の向上と消防活動の強化及び活性化を推進する公益目的事業等を行っております。

当消防協会は昭和36年6月に財団法人として設立され、平成25年4月から一般財団法人に移行し現在に至り、今年で創立62年となりました。

3 喫緊の課題と取組み

皆さんご存知のとおり消防団員数は、昭和20年代には全国で200万人を超えていました



が、昭和30年には200万人を切り(194万人)、その後も減少は続き、平成2年には100万人を切り(99万人)、現在は762,670人(令和5年度概要調査数値)となっています。

特に懸念されるのが、令和に入ってから減少幅が増大し続けていることです。

岡山県も例外ではなく、昭和50年からの50年弱で約12,000人減少(37,030人⇒25,077人)、特にこの3年間は過去に類を見ない減少数(合計2,000人以上)となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために社会活動のあらゆる場面で自粛を強いられ、対面での入団勧誘もままならない状況であったことが大きな要因ではありますが、現代社会の抱える諸問題<少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への帰属(貢献)意識の希薄化>が深く関係していると考えます。

私が暮らす地元【岡山県美作市】も少子高齢化が進み(高齢化率41%)、少子化に追い打ちをかけているのが進学、就職を理由とする若者の流出で、入団をお願いする若年層自体が居なくなるという状況です。消防団そのものを知らないままで地元を離れるわけですから、年を経てUターンしてもなかなか入団してもらえない、そして家族(子供達)にも入団を勧めないという連鎖が生まれています。

そこで当市で取り組んだのが、地元の高校や専門学校に協力を仰ぎ、学校に出向いての説明会で機能別消防団員【学生消防隊員】を募ることでした。学生ですから活動する時間や範囲は制限され、在籍期間も短いのですが、少しでも消防団というものに触れることで、消防団に対する理解が得られ、将来基本団員

の仲間として活動してもらえる可能性があります。学校の協力もあり、コロナ禍にあったこの3年間、毎年20~30人(半数以上が女性)が入団され、啓発活動や規律訓練等に取り組んでいます。

このような取り組みも、一朝一夕(容易)に成果が出るものではありませんが、地道に継続することで少しずつ改善されると信じています。

そして、消防団という組織の運営において最も大切なことは、既存団員や入団を躊躇される方々の『想い』『意見』をしっかりと聞くことだと思います。『活動の負担が大きい』『上下関係が煩わしい』など、消防団そのものの運営の問題、『職場や家族の理解が得られない』という私生活に係る問題、いずれも真摯に受け止め、創意工夫しながら乗り越えていかなければならないと考えています。

4 終わりに

消防団員確保において、総務省の進める消防団員の処遇改善<報酬増額等>は必須であり有効と考えます。そのうえで私たち岡山県消防協会は、現場に合わせ時代に沿った細やかな対応で消防団を支援し、寄せられる期待に応えるべく日々努力してまいります。

最後になりましたが、全国の消防関係者の皆様、新型コロナウイルス感染症の位置付けが変わり、法律に基づいた自粛要請などがなくなり、徐々に日常を取り戻しつつありますが、感染症自体が無くなったわけではありません。感染防止対策に充分ご留意いただき、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

新日消会館、完成後もいろいろ

(公助)日本消防協会 会長 秋本敏文

新しい日本消防会館の建設は、令和6年5月末完成、引渡を予定して進めてきましたが、先日、2か月半遅れの8月半ばに完成、というお話が出てきました。5月末完成を予定して完成後のイベントなどを検討してきましたので、困ったことになったなあと思いましたが、やむを得ません。関係の方々とはご相談を経なければ決定できないことばかりですから大変ですが、これまでに申しあげてきたイベントは何とか実現して、消防関係の皆さん等、おいで頂けるようにします。

この日程検討に当たっては、完成後の引越し等実務も考えなければなりません、例年実施しています全国イベントとの調整にも配慮しなければなりません。

全国イベントにつきましては、コロナウイルス問題から中止、あるいは規模縮小とせざるを得なかったことが続いたのですが、やっと最近元に戻りつつあります。そのことが一番はっきりしたのは、昨年、千葉県で開催した全国消防操法大会でした。ご参加頂いた皆さんの熱気が伝わり、会場全体を盛り上げて頂きました。また、この大会開催前、初めて操法実技の見直しを行うこととして、前年から専門的な知識経験をもつ人たちに参加して頂いて検討し、結論として、現場の実技に直結する操法はキチンと実行し、パフォーマンス的な動作は見直すことにしました。大会終了後、この見直しについてあらためて参加団の意見を頂きましたが、ほぼ賛成を頂きましたので、翌年の、今年の全国女性消防操法大会もこれにより実施しました。

その今年の東京都での女性大会では、前日の激励交流会を復活して開催しました。ここでは、国会議員の方々、消防応援団の方々にもご出席頂き、出場選手のやる気満々の意気で大盛り上がりになり、その延長のもと本番大会も大いに盛り上がりました。全国操法大会の意義をあらためて認識する機会になりました。

そのほか、少年消防クラブの全国交流会もやっと鳥取県米子市で開催することができ、これも皆さんの元気が溢れました。

「ぼうさいこくたい」は、昨年の神戸市につづき今年は横浜市で開催しました。今年は関東大震災から100年ということでしたから、“横浜市の関東大震災”を中心テーマにしました。いろいろ考えさせられる有意義なイベントにできたと思います。

このようなことを書きつらねますとキリがありませんが、とに角、明年新会館が完成しましたら、このような例年実施していますいろいろなイベントも大切にしながら、日程等の検討を重ねて、新会館の1,000席のホール、1階の日本消防防災情報センター、6階の消防関係者のたまり場等を活用して、消防団員確保等により、基礎となる地域防災力充実強化、装備の改善、海外情報等も活用する新たな戦略展開など日本消防の益々の発展、国民の皆さんの安全向上に貢献できるように努力しなければなりません。考えていくとこうなるのですが、ちょっと大変ですね。皆さんよろしく願います。

第25回全国女性消防操法大会 東京臨海広域防災公園で開催！

(公財)日本消防協会

令和5年10月21日(土)東京臨海広域防災公園(江東区有明)において、第25回全国女性消防操法大会を開催しました。

この大会は、女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図ることを目的として2年に1回開催されており、安全、確実かつ迅速な消防活動の習熟に資するため、消防用機械器具(軽可搬ポンプ)の操作の基本について、その技術を競う大会です。令和元年の大会以後、新型コロナウイルスの影響で延期となり、4年ぶりの開催となりました。

各都道府県を代表する女性消防隊44隊が出場し、日頃の訓練成果を披露しました。

また、操法終了後には、葛飾区東新小岩7丁目町会市民消火隊の皆様にご協力いただき、C級ポンプを用いた操法を、臨港消防団の皆様にはB級ポンプを用いた操法をご披露していただきました。

日	時	令和5年10月21日(土) 午前9時00分から
場	所	東京臨海広域防災公園 東京都江東区有明三丁目8番35号
主	催	総務省消防庁、(公財)日本消防協会
共	催	東京臨海広域防災公園
協	力	東京都、東京都消防協会、東京都消防長会、東京消防庁
参加来場者数		約3,000人

1 開会式



選手整列



日本消防協会旗入場



開会宣言(沖山 仁 日本消防協会副会長)



内閣総理大臣優勝旗返還
(第24回優勝隊 熊本県八代市本部女性消防隊)



主催者挨拶(鈴木 淳司 総務大臣)



主催者挨拶(秋本 敏文 日本消防協会会長)



来賓祝辞(東京都知事代理 潮田 勉 副知事)



来賓祝辞(吉田 義実 全国消防長会会長)



競技上の注意
(青山 忠幸 消防庁消防大学校長)



選手宣誓
(熊本県八代市本部女性消防隊 笠田 佳子 隊長)

選手宣誓

宣誓

私たち、選手一同は、各都道府県代表として、本大会に出場できたことを、この上ない名誉とし、操法にあたっては、この名誉を傷つけることなく、消防精神を深く認識し、正々堂々と競技することを誓います。

令和5年10月21日
選手代表 熊本県八代市本部女性消防隊
隊長 笠田 佳子

2 操法競技

操法競技は、午前9時50分から開始。2コースに分かれ白熱した競技が披露されました。



審査開始報告



待 機



操法開始報告



操法開始(ポンプ準備、吸管延長)



ホース延長



ホース搬送



吸管投入



放水準備



標的に向かって放水



放水



放水



放水はじめ



放水やめ



審査員退場



ホース撤収

3 操法終了後、葛飾区東新小岩7丁目町会市民消火隊、臨港消防団の皆様の操法披露

女性消防操法大会では長年、D級ポンプを使用していますが、部品調達等の事情から今年度末でD級ポンプの生産が取り止めとなります。今後の操法大会で使用するポンプや現場活動で使用するポンプをどうしていくかということを考えていかなければなりません。そのため、表彰式までの時間を利用してC級ポンプおよびB級ポンプによる操法の実例をご覧ください。C級ポンプは東新小岩7丁目町会市民消火隊、B級ポンプは臨港消防団の皆様にご披露いただきました。



葛飾区東新小岩7丁目町会市民消火隊の皆様より
C級ポンプを用いた操法をご披露いただきました



葛飾区東新小岩7丁目町会市民消火隊 1 番員



臨港消防団 1 番員



臨港消防団の皆様より B 級ポンプを用いた操法をご披露いただきました

4 表彰式

青山忠幸審査長から競技審査結果が発表され、引き続き表彰式が執り行われました。優勝隊に内閣総理大臣賞と日本消防協会会長賞が、準優勝隊（2隊）に消防庁長官賞と日本消防協会会長賞が、優秀賞（3隊）及び優良賞（6隊）には日本消防協会会長賞がそれぞれ授与され、最後に日本消防協会会長特別賞として、各操作員の10名（各コース5名）に優秀選手賞が授与されました。



成績発表



表彰式整列



熊本県 八代市本部女性消防隊

準優勝 2隊



東京都 板橋消防団女性消防隊



愛知県 刈谷市女性消防隊



優秀賞 3隊



山口県 和木町女性消防隊



香川県 高松市女性消防隊



岡山県 和気町女性消防隊

優良賞 6隊



広島県 福山市女性消防隊 他5隊

優秀選手賞 10名



優秀選手賞 10名

5 閉会式



万歳三唱

(古山 大功 日本消防協会副会長)



国旗降納



閉会宣言

(岩田 光子 稲城市女性防火クラブ会長)

第25回全国女性消防操法大会出場順

出場順	予定時間	第1コース		第2コース	
		本 部 席 側		応 援 席 側	
		都道府県	消防隊名称	都道府県	消防隊名称
1	9:50	岐 阜 県	安八郡女性消防隊	石 川 県	かほく市女性消防隊
2	10:00	和歌山県	有田市女性消防隊	長 崎 県	西海市女性消防隊
3	10:10	京 都 府	亀岡市女性消防隊	青 森 県	弘前市女性消防隊
4	10:20	宮 崎 県	日向市女性消防隊	栃 木 県	那須塩原市女性消防隊
5	10:30	神奈川県	相模原市女性消防隊	高 知 県	高知市女性消防隊
6	10:40	鹿児島県	鹿児島市女性消防隊	大 阪 府	岬町女性消防隊
	10:50	休 憩			
7	11:00	富 山 県	富山市女性消防隊	秋 田 県	大仙市女性消防隊
8	11:10	福 井 県	越前市女性消防隊	岩 手 県	住田町女性消防隊
9	11:20	山 形 県	庄内町女性消防隊	長 野 県	飯田市女性消防隊
10	11:30	岡 山 県	和気町女性消防隊	茨 城 県	北茨城市女性消防隊
11	11:40	千 葉 県	館山市女性消防隊	兵 庫 県	播磨町女性消防隊
12	11:50	福 岡 県	久留米市女性消防隊	徳 島 県	神山町女性消防隊
	12:00	午前中の操法終了			
昼 食					
13	12:30	三 重 県	鈴鹿市女性消防隊	北 海 道	西胆振行政事務組合女性消防隊
14	12:40	熊 本 県	八代市本部女性消防隊	愛 媛 県	今治市女性消防隊
15	12:50	佐 賀 県	神崎市女性消防隊	奈 良 県	御所市女性消防隊
16	13:00	新 潟 県	佐渡市女性消防隊	愛 知 県	刈谷市女性消防隊
17	13:10	鳥 取 県	北栄町女性消防隊	広 島 県	福山市女性消防隊
18	13:20	香 川 県	高松市女性消防隊	山 口 県	和木町女性消防隊
	13:30	休 憩			
19	13:40	埼 玉 県	入間東部女性消防隊	滋 賀 県	米原市女性消防隊
20	13:50	宮 城 県	仙南女性消防隊	大 分 県	臼杵市すみれこども園女性消防隊
21	14:00	沖 縄 県	那覇市女性消防隊	静 岡 県	富士宮市女性消防隊
22	14:10	群 馬 県	桐生市女性消防隊	東 京 都	板橋消防団女性消防隊
	14:20	操 法 終 了			

第25回全国女性消防操法大会出場順 成績表(出場隊)

順位	都道府県	消防隊名	タイム(秒)	総合得点
優勝	熊本県	やつしろしほんぶじよせいしやうぼうたい 八代市本部女性消防隊	44.12	93.5
準優勝	東京都	いたばししやうぼうだんじよせいしやうぼうたい 板橋消防団女性消防隊	45.66	88.0
	愛知県	かりやしじよせいしやうぼうたい 刈谷市女性消防隊	48.15	88.0
優秀	山口県	わきちやうじよせいしやうぼうたい 和木町女性消防隊	48.93	87.0
	香川県	たかまつしじよせいしやうぼうたい 高松市女性消防隊	49.58	86.0
	岡山県	わけやうじよせいしやうぼうたい 和気町女性消防隊	48.22	84.5
優良	広島県	なぐやましじよせいしやうぼうたい 福山市女性消防隊	52.87	83.5
	千葉県	たてやましじよせいしやうぼうたい 館山市女性消防隊	50.85	82.5
	埼玉県	いるまとうぶじよせいしやうぼうたい 入間東部女性消防隊	49.35	81.5
	福岡県	くろめしじよせいしやうぼうたい 久留米市女性消防隊	50.15	81.0
	宮崎県	ひやうがしじよせいしやうぼうたい 日向市女性消防隊	52.31	79.0
	静岡県	ふじのみやしじよせいしやうぼうたい 富士宮市女性消防隊	56.03	77.5

第25回全国女性消防操法大会出場順 優秀選手

	コース	都道府県	消防隊名	選手名
指揮者	1	熊本県	やつしろしほんぶじよせいしやうぼうたい 八代市本部女性消防隊	むらかみ ゆい 畠上 由衣
	2	東京都	いたばししやうぼうだんじよせいしやうぼうたい 板橋消防団女性消防隊	しみず みちえ 清水 成恵
1番員	1	埼玉県	いるまとうぶじよせいしやうぼうたい 入間東部女性消防隊	かりの じゅんこ 狩野 淳子
	2	愛知県	かりやしじよせいしやうぼうたい 刈谷市女性消防隊	うちやま まゆう 内山 麻邑
2番員	1	香川県	たかまつしじよせいしやうぼうたい 高松市女性消防隊	ほんだ あやめ 本田 富
	2	山口県	わきちやうじよせいしやうぼうたい 和木町女性消防隊	みやもと ゆかり 宮本 ゆかり
3番員	1	熊本県	やつしろしほんぶじよせいしやうぼうたい 八代市本部女性消防隊	なす ちゆみ 那須 あゆみ
	2	愛知県	かりやしじよせいしやうぼうたい 刈谷市女性消防隊	なかわら みき 中村 樹
4番員	1	熊本県	やつしろしほんぶじよせいしやうぼうたい 八代市本部女性消防隊	しのはら のりこ 篠原 のり子
	2	愛知県	かりやしじよせいしやうぼうたい 刈谷市女性消防隊	こんどう いろね 近藤 色音



第25回全国女性消防操法大会 「激励交流会」開催

(公財)日本消防協会

令和5年10月20日(金)、翌日の全国女性消防操法大会に出場する選手を激励し、出場選手をはじめ消防関係者の交流と士気高揚を目的として、第25回全国女性消防操法大会「激励交流会」を東京都江東区、TFTビル西館TFTホール1000で開催しました。交流会には出場選手、消防庁長官や国会議員などご来賓の方々、消防応援団の皆さん、消防団入団促進サポーターの皆さん、消防関係者など約600名が参加されました。

秋本日本消防協会会長による主催者あいさつではじまり、鈴木総務大臣からのメッセージのご紹介と併せて原消防庁長官、吉田全国消防長会会長から激励をいただきました。また、消防応援団の水前寺清子さん、平野啓子さん、舞の海秀平さん、蝶野正洋さん、山田邦子さん、消防団入団促進サポーターのレギュラーのお二人と、しゅんしゅんクリニックPさんからも消防に対する熱い期待を込めたメッセージをいただきました。

出場選手を代表して、東京都板橋消防団女性消防隊、金子妙子さんに大会本番に向けての決意表明を行っていただきました。金子さんの大きな掛け声とともに、ステージに登壇する代表選手が一体となって会場全体を鼓舞する場面もあり、大いに盛り上げていただきました。

沖山東京都消防協会長による乾杯のご発声後、交流の場に移り、石橋千葉県消防協会長の閉会のあいさつで、激励交流会は盛会のうちに終了となりました。

今回の激励交流会は、女性大会では令和元年11月の横浜大会以来4年ぶりの開催となりましたが、全国から集まった女性消防隊員を中心とした消防関係者が交流を図ることで、地域間の絆を深めるとともに、翌日の大会本番に向け出場選手の皆さんの士気は大いに高まりました。

●あいさつ

●激励メッセージ



秋本日本消防協会会長



原消防庁長官



吉田全国消防長会会長

●消防応援団の皆さん



水前寺清子さん



平野啓子さん



舞の海秀平さん



蝶野正洋さん



山田邦子さん

●消防団入団促進サポーターの皆さん



レギュラーさん(左 松本さん、右 西川さん)



しゅんしゅんクリニックPさん

●記念撮影



●選手代表決意表明



東京都代表 金子妙子さん
(板橋消防団女性消防隊)

●乾杯



沖山東京都消防協会長

●閉会あいさつ



石橋千葉県消防協会長

●歓談風景



ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財) 日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、令和5年8月から令和5年10月までに放送した出演者を紹介します。

なお、放送した番組は、日本消防協会のホームページで聴くことができます。



令和5年8月放送分に
出演の消防応援団
榎野智章さん

8月5日又は6日放送



埼玉県
行田市消防団
団員
島田 有里加さん
島田 珠里亜さん

今回の収録で、元サッカー日本代表の榎野智章さんとお話ができ、とても光栄で、私たち親子にとっても良い記念となりました。是非、全国の消防団員の方々に一度行田市にお越しいただき、私たちの住んでいる「行田市」を肌で感じて頂きたいと思います。

8月12日又は13日放送



秋田県
由利本荘市消防団
団員
佐藤 弘幸さん

この度は貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。私たちは海・川に特化した団員で構成される機能別消防団として活動しております。有事の際にいち早く駆け付けられるように訓練し頑張っていきます。榎野さんともっとお話ししたかったのですが、緊張でお話しできなかったのが残念でした。

8月19日又は20日放送



長崎県
諫早市消防団
班長
中野 小百合さん

ラジオ出演という貴重な体験をすることができ、諫早市の取り組みを伝えられる良い機会となりました。諫早市消防団のInstagramを見て頂いて、少しでも消防団に対して興味を持って頂けたら嬉しいです。これからも消防団の魅力を伝えていけると良いなと思っています。

8月26日又は27日放送



静岡県
静岡市消防団
班長
吉川 諒祐さん

「地元を愛する気持ちと地域貢献をしたいという心意気を持っている消防団員がまだまだたくさんいて、万が一の災害時に陰ながら地元を守る役目を担っている。」ということ、一人でも多くの方にお伝えできたら幸いです。



令和5年9月放送分に
出演の消防応援団
青木 愛さん

9月2日又は3日放送



山形県
小国町消防団
団長
山口 誠一さん

この度は貴重な経験ができましたことに感謝を申し上げます。とても緊張してしまい、うまく話せなかったと思っています。小国町消防団の活動について広くお知らせできて良かったです。

今後も普段通りに活動できるように頑張ります。ありがとうございました。

9月9日又は10日放送



山口県
岩国市消防団
団員
中川 博之さん

山口県では唯一の消防活動用赤バイクの活動を、ラジオを通じて全国にPRできたことに大変感謝いたします。このように、自分の得意な分野を消防団活動に活かせることは、とても大切だと思います。これからも安全運転を心掛け、赤バイクに乗務する仲間を増やしたいと思います。ありがとうございました。

9月16日又は17日放送



山梨県
富士吉田市消防団
富士山隊
隊長
小佐野 昇一さん

ラジオ放送という貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

今後も富士山を訪れるお客様の安心・安全に努めて参ります。

9月23日又は24日放送



京都府
京都市下京消防団
学生団員
海老名 佑果さん

このラジオを聴いてくださった方が少しでも消防団というものに興味を持って頂ければいいなという思いで、出演させて頂きました。またこれを機に、私自身も他の地域の消防団員の方々の活動を知ることができました。貴重な機会をありがとうございました。



令和5年10月放送分に
出演の消防応援団
蝶野正洋さん

9月30日又は10月1日放送



(公財)沖縄県消防協会会長
沖縄県
沖縄市消防団
団長
久高 清美さん

「消防応援団」の蝶野さんには、色々な大会、行事において、エールを送って頂き、今回ラジオでの共演大変嬉しく感謝しております。

全国初の県協会長として、沖縄県の消防力の向上のため、女性の視点から取り組んでいきたいと思っています。

10月7日又は8日放送



愛媛県
宇和島市消防団
団長
稲垣 聖治さん

新しいご縁をいただきありがとうございます。

消防団について、聴取者の皆さんに少しでも理解を深めていただければ、良かったと思います。蝶野さん、ひろたアナとも親しみやすく緊張することなくお話できました。



愛媛県
宇和島市消防団
副団長
平山 裕さん

この度は、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

5年前の西日本豪雨の話をして頂きましたが、今では毎年のように各地で豪雨災害が発生しています。想定外を想定内に出来るよう、訓練を続けていきます。

10月14日又は15日放送



群馬県
伊勢崎市消防団
分団長
青山 和世さん

この度は、貴重な機会を頂き、ありがとうございました。蝶野さん、ひろたさんのおかげで緊張が解れ、楽しむことができました。また、5年前に続き、蝶野さんから励ましのお言葉を頂いたこと、本当に嬉しかったです。これからも消防団活動、精一杯頑張ります。

10月21日又は22日放送



富山県
砺波市消防団
団員
フォルブレヒト・ダニエルさん

上手くできるか少し心配でしたが、みなさんとても優しく、楽しくお話しできました。あっという間に終わってしまいました。

ありがとうございました。

10月28日又は29日放送



兵庫県
福崎町消防団
団長
浅井 信人さん

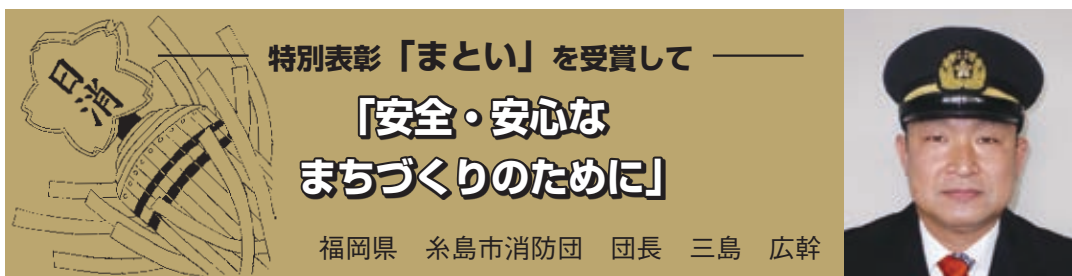
福崎町消防団を紹介する機会をいただきありがとうございました。

「ひと まち 守る 福咲きの消防団」をモットーに、これからも消防団が一丸となって地域の安全・安心のため、地域に根付いた活動に尽力していきます。

全国の皆さん、福崎町へお越しください。妖怪たちとお待ちしております。

「おはよう！ニッポン全国消防団」放送日時

地方	県	放送局	放送日	放送時間	備考
北海道		(株) S T V ラ ジ オ	日	5:50~6:00	
東北	青森	青森放送(株)	日	7:20~7:30	
	岩手	(株) I B C 岩手放送	日	6:15~6:25	
	宮城	東北放送(株)	土	5:00~5:10	
	秋田	(株) 秋田放送	日	6:15~6:25	
	山形	山形放送(株)	日	6:20~6:30	
	福島	(株) ラ ジ オ 福島	土	5:40~5:50	
	新潟	(株) 新潟放送	日	7:40~7:50	
関東	東京	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	神奈川	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	埼玉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	群馬	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	千葉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	茨城	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	栃木	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	山梨	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	長野	信越放送(株)	日	6:50~7:00	
中部	福井	福井放送(株)	日	6:10~6:20	
	石川	北陸放送(株)	日	7:35~7:45	
	富山	北日本放送(株)	日	6:10~6:20	
	三重	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	愛知	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	静岡	東海ラジオ放送(株)・ニッポン放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:15~6:25	一部地域は東海ラジオ放送
	岐阜	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
近畿	京都	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	大阪	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	兵庫	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	奈良	(株)和歌山放送・大阪放送(株)	土・日	6:30~6:40 6:00~6:10	一部地域は大阪放送
	滋賀	東海ラジオ放送(株)・大阪放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:00~6:10	一部地域は東海ラジオ放送
	和歌山	(株) 和歌山放送	土	6:30~6:40	
中国	鳥取	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	島根	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	岡山	西日本放送(株)・(株)中国放送	土・日	7:35~7:45 5:30~5:40	一部聞きづらい地域があります。 一部地域は中国放送
	広島	(株) 中国放送	日	5:30~5:40	
	山口	山口放送(株)	土	6:50~7:00	
四国	徳島	四国放送(株)	土	6:40~6:50	
	香川	西日本放送(株)	土	7:35~7:45	
	愛媛	南海放送(株)	日	6:55~7:05	
	高知	(株) 高知放送	日	6:40~6:50	
九州	長崎	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	福岡	九州朝日放送(株)	日	6:15~6:25	
	大分	(株) 大分放送	日	6:45~6:55	
	佐賀	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	熊本	(株) 熊本放送	土	6:50~7:00	
	宮崎	(株) 宮崎放送	日	6:20~6:30	
	鹿児島	(株) 南日本放送	土	8:30~8:40	
	沖縄	(株) ラ ジ オ 沖縄	日	6:35~6:45	



1 はじめに

令和5年3月3日、日本消防会館（ニッショーホール）にて開催されました第75回日本消防協会定例表彰において、消防団として最高栄誉である日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞させていただきました。

全国に2,200ある消防団の中からこのような栄誉ある賞を受賞できましたことは、この上ない喜びであり誇りとするところであります。今回の受賞は、団員はもとより、永年にわたり地域の安全・安心にご尽力いただいた諸先輩方の偉大な功績であり、地域住民の皆様のご理解とご協力、また、福岡県、福岡県消防協会並びに関係各位の多大なるご支援、ご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

2 糸島市の紹介

糸島市は、福岡県の西部に位置し、人口は約10万人、市の面積は215.69km²で、東は福岡市、西は佐賀県唐津市、南は佐賀市と接し、福岡市の中心部からおおよそ30分の時間距離にあり、博多駅や福岡空港にも直通でアクセスでき、交通の利便性が高い地域です。都市近郊型の農業や畜産業が盛んで、休日には市内各所にある農畜産物や海産物直売所に多くの人が訪れます。また市内には、万葉の歌にも詠まれ「糸島富士」と呼ばれる可也山、神秘的な景観の芥屋の大門や桜井二見ヶ浦、美しい海岸線を有した幣の浜や鳴き砂で知られる姉子の浜、脊振山系の山々からの清らかな水が流れる白糸の滝や千寿院の滝などの名勝があります。

3 糸島市消防団の紹介

平成22年1月に1市2町（旧前原市、旧二丈町、旧志摩町）が市町村合併し糸島市となり、新たに糸島市消防団が誕生しました。消防団においては、これまでの組織体制をそのまま引き継ぎ、14分団 定数995名で組織されています。消防ポンプ車13台、小型ポンプ積載車3台、指揮広報車1台を配備しています。



特別表彰「まとい」の授賞式



水防訓練



文化財防火訓練

4 糸島市消防団の活動

糸島市消防団の主な活動は、火災や風水害時などにおける災害活動はもとより、年間事業計画に基づき消防出初式や各種訓練、ポンプ操法や火災予防広報等を実施し、市民の安全・安心を守るため、地域に密着した各地で行われる行事の警備活動を行い、有事の際に備えています。また、ポンプ操法は隔年で実施し、消防操法を実施しない年には実火災を想定した実践的な訓練を行っています。その他、消防本部や隣接消防団との合同で行う中継送水を主とした訓練を行い相互の協力体制強化を図るとともに、団員のみならず地域住民の防災意識の高揚に努めています。

5 おわりに

近年、全国各地で大雨、台風、地震など大規模な災害が地域住民の生命、財産を脅かしており、糸島市においても市民の防災に対する関心は高まっています。しかし、消防団員の確保は年々難しくなっています。この防災意識をより向上するために、消防団活動を活性化し、若者や女性の入団を促進することで防災活動が身近なところで行われているものだという認識が深まり、地域の安全・安心へと繋がっていきます。今後、いつ発生するか予測できない災害に備え、日々訓練を重ね、火災予防広報を行い、市民の安全・安心を守るため、団員一丸となり地域のリーダーとして地域防災力の向上に尽力してまいります。



「安全で安心して 快適に暮らせるまち」を 目指して



佐賀市消防団 団長 吉村 勝則

1 佐賀市の紹介

佐賀市は佐賀県の南東部に位置しており、人口約23万人、面積約431平方キロメートルあります。北部地域は脊振山系の山ろく部の山林や清流が広がり、随所に温泉地があります。中心部は日本の近代化を先導した「幕末維新期の佐賀」の魅力を紹介している佐賀城本丸歴史館、長崎街道に代表される歴史遺産などが、市街地の各所に残っています。南部地域では佐賀平野に広がるクリークや田園風景、豊饒の海といわれる「有明海」など素晴らしい環境に恵まれています。特に有明海ではノリの養殖が盛んで、「佐賀海苔」は毎年、全国有数の生産量を誇る佐賀県を代表する食材となっています。



2 佐賀市消防団の概要及び災害対応

佐賀市消防団は、明治23年に今の消防団の前身である佐賀市消防組が発足、昭和22年に佐賀市消防団と今の名称に代わり、市町村の合併に伴い8つの消防団が平成21年に統合しました。統合後は現在の組織体制となり、3方面隊、12支団、47分団、211部、団員数3,229名(令和5年4月)の組織となっています。

北部方面隊

主に山間部から平野部にかけて管轄地域としています。

そのため、おもな災害として、林野火災、大雨時には土砂災害、山での遭難捜索などに対応している地区となっています。

中部方面隊

主に山のふもとから平野部、市街地を管轄地域としています。そのため、住宅密集地の火災、ビルなどの高層、耐火建物の火災、里山などでの遭難捜索、大雨時には内水氾濫による浸水被害防止、山のふもとでは土砂災害の対応など幅広い活動を行っています。

南部方面隊

平野部、有明海沿岸部を管轄としています。

主な活動は大雨時には浸水被害の防止、台風時などには高潮警戒、海岸沿岸部での救助や災害活動、また管内には佐賀空港があるため航空機事故対応にも備えています。

3 佐賀市消防団の行事

【佐賀市消防団出初め式】

新春初頭の恒例行事で、「安全で安心して快適に暮らせるまち」を目指して消防団員が職責の自覚を新たに、防火・防災に対する心意気を示します。団員による分列行進、消防車両の行進。ラッパ隊の吹奏に合わせて放水隊による五色放水を行います。

【佐賀市水防訓練】

出水期前に、水防工法の知識・技術を習得するとともに、消防団の連携・強化を図ることにより、緊急時における水防体制の強化、水防現場において迅速的確に活動することを目的に行います。

【夏季訓練】

団員個人の資質の向上、さらには部隊行動を円滑に行うことを目的に行います。通常点検及

び小隊訓練並びに小型ポンプ操法の訓練を行います。

【佐賀市消防団消防操法大会】

市内の各支団の代表による小型ポンプ操法競技を行うことで、市消防団全体の消防技術の向上と士気高揚を図ることにより、地域防災体制の充実強化へ繋げることを目的に行います。令和4年度は代表チーム12隊が、日頃の訓練の成果を発揮し消防操法の迅速さと正確さを競い合いました。

【年末警戒】

年末の繁忙期において、火災による被害を軽減することを目的として、警戒体制を強化するとともに、地域に応じた火災予防広報を実施します。火災が発生しやすい年末の時期に消防団が警戒にあたることで、火災予防意識の普及啓発を行っています。



佐賀市消防団消防操法大会



一斉放水(五色放水)

4 消防団員確保のための取り組み

昨今、地域社会とのつながりが希薄化していると言われますが、佐賀市消防団では、災害対応はもちろんのこと、地元のイベント等にも積

極的に参加、協力し地域社会と一体となることで、消防団活動に対する認識、理解を深めることに努めています。

また、消防団員確保のためラッピングバス及び地元広報誌への消防団PR記事の掲載等の広報事業を行っています。他にも佐賀県が主催する地元佐賀のプロサッカーチーム「サガン鳥栖」とのコラボ企画や大学の学園祭に出向き、勧誘活動を行うなど、団員確保に努めています。



サガン鳥栖ホームゲームでの消防団PR活動

5 終わりに

消防団員数の減少が、全国的な問題となっていますが、本市においても年々団員数が減少している現状です。地域防災の中核を担う消防団の運営がままならないと、地域防災力の低下に繋がります。特に大規模災害が発生した際には対応が難しくなり、被害が拡大しかねません。団員数確保のため、団員の活動しやすい、参加しやすい環境づくりを行うなど処遇改善に努めて参りたいと思います。

また、近年は全国各地において河川氾濫や土砂崩れ等の豪雨災害が発生するなど、災害は多様化、激甚化、頻発化しております。更には南海トラフ地震などの大規模災害の発生も懸念されております。このような中、地域の安全と市民生活の安心を確保する上で、消防団に寄せる市民の期待と役割は大変大きなものがあります。

そういった中で、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと、地域との繋がりをより一層密接にすることは元より、災害対応能力及び関係機関との連携の強化を図り、地域防災のために貢献していきたいと思



「地域の安心安全のために」



琴浦町消防団 団長 野間田 世治

1 琴浦町の紹介

琴浦町は鳥取県のほぼ中央に位置し、県庁所在地の鳥取市には約60キロメートル、米子市には約35キロメートルの位置にあります。南は秀峰大山から連なる山地に囲まれ、北は日本海に面した人口約1万6千人の町です。

地勢は、東西15.2キロメートル、南北18.5キロメートル、総面積139.97平方キロメートルで、南は大山山麓台地と急峻な山地、北に向かうにしたがって緩やかになり、町内を南北に流れる加勢蛇川及び勝田川の流域を中心に平野部が広がっています。

このような自然の恵みを受け、地酒のほか、かまぼこやお菓子、牛乳・乳製品、梨、ミニトマト、ブロッコリー、牛肉など多くの特産品があるほか、大山隠岐国立公園の中にあり、本格的フィンランド



船上山

サウナが楽しめる「一向平キャンプ場」や東西約500メートルにわたって自然のままの石の浜が残る「鳴り石の浜」、太平記の舞台となった「船上山」、山陰地方で唯一国指定の特別史跡となっている「斉尾廃寺跡」など、自然と歴史が溢れる町です。

2 琴浦町消防団の概要

琴浦町消防団は、平成16年9月1日に東伯町と赤碕町が合併したことに伴い発足しました。発足当初から2地区10分団、団員定数172人、ポンプ車10台で、消火活動や地域での防災活動にあたっています。

3 琴浦町消防団の活動

消防団活動の主なものとして、春季・秋季の火災予防週間、町が指定した防火強化月間（4月、12月）における啓発活動、毎年6月に開催される消防ポンプ操法大会への出場や訓練、鳥取県中部の市町で行う合同演習、新入団員への規律訓練の実施、出初式等があります。

春季・秋季の全国火災予防運動では、消防車で広報を行いながら町内を一周する防火パレードのほか、こども園での防火啓発、女性消防班が高齢者宅を訪問して火災予防の呼びかけを行うなどの取り組みを行っています。啓発活動のほか、運動期間中には、消火栓や防火水槽の消防



出初式での放水

水利やポンプ車の性能点検を行い、火災発生に備えた活動も定期的に行っています。

また、火災予防運動期間や防火強化月間を中心に、自治会や自主防災組織が実施する消火栓や消火器を使用した消火訓練にも参加し、消火に係る基本的動作などを指導するなど、地域と連携した取り組みを進めているところです。

毎年6月には琴浦町消防ポンプ操法大会を開催していますが、全分団が大会に出場しています。操法大会に向け、琴浦消防署の消防士から指導を受け、厳しい訓練を行いながら、消防技術の向上に努め大会に臨んでいます。その成果もあり、中部4町で実施する郡操法大会や県操法大会で入賞するなど好成績を収めています。

近年多発する災害においては、道路の冠水や家屋等の浸水現場に出動し、住民の避難誘導や土のう積みを行うなど、地域防災の中核を担う組織として活動を行っています。

4 おわりに

異常気象による豪雨被害など災害の発生頻度は高くなっており、消防団の重要性は大きくなっています。消防団員の確

保や団員の高齢化など、様々な課題はありますが、地域防災の要である消防団として、琴浦町民の安心安全を守り、地域の皆様に寄り添える消防団でありたいと思います。



操法大会



土のう積み訓練



「常にアップデートする 消防団を目指して」



清水町消防団 団長 山本 俊洋

1 清水町消防団の紹介

清水町消防団は、団本部10名と女性消防団である清風隊9名、32名ずつの分団が3個分団あり合計115名の団員から構成され、消防ポンプ車3台、広報車1台、消防オフロードバイク3台を配備しており、日々町民の生命・財産を守るため、訓練に励んでいます。

令和元年度には静岡県消防操法大会において、清水町第2分団がポンプ車操法の部で優勝し、令和3年3月には、消防団として最高の栄誉である特別表彰「まとい」を受賞いたしました。

消防団員の減少化が全国的な課題となっているなか、令和5年現時点において、条例定員を充足し日々精力的な活動をしております。

2 清水町の紹介

清水町は、静岡県の伊豆半島の付け根に位置する温暖な地域です。人口は約31,000人であり、町の面積は8.81km²で、東西2.7km、南北4.5kmの大変コンパクトな町であります。面積の95%は平坦地であり、町の北部を東西に国道1号が横断しており、このため沿線地域は商業活動が盛んです。

また、町の中心地域を「日本の名水100選」に選ばれた柿田川が北から南に流れ、町内で町を南東から西に横断する狩野川に合流するなど自然も豊かであり、近隣だけでなく首都圏へのベッドタウンともなっております。



令和元年度静岡県消防操法大会ポンプ車操法優勝

3 清水町消防団の活動

清水町消防団の活動は、男性消防団員による火災や水防等の災害活動や女性消防団員による町広報誌へのコラム掲載・SNSを利用した広報活動があります。

放水訓練や規律訓練などを行う年10回の総合訓練等を実施するほか、地域と連携し各自治会の催しの警備等を行うことにより、社会貢献もしています。

近年、火災は減少傾向にあり、実際の火事場を経験したことのある団員が少なくなる中、分団ごと定期的に訓練を重ねることで技術の向上に努めています。

一方で、異常気象により河川の増水等による水防活動が増えております。

記憶に新しいところでは、本県に多大な被害をもたらした狩野川台風並みと言われた令和元年度の台風19号と清水町と沼津市の市町境に流れる一級河川である黄瀬川を横断する黄瀬川大橋が落橋した令和3年度の7月豪雨においては、我々消防団員も不眠不休で、狩野川の河川監視・樋管の操作・避難誘導などの活動を実施し、幸いにも当町において人的被害はありませんでした。

4 おわりに

清水町消防団は、予想される南海トラフ巨大地震等の大規模災害応はもとより、通常災害（火災・水防・救助等）等に備え日々訓練を実施し、県大会優勝や「まとい」の受賞の名に恥じぬよう「自分たちのまちは自分たちで守る」意志を持ち消防団活動を実施してまいります。

結びに、現在の清水町消防団があるのは、消防団活動にご理解とご協力をいただきました団員家族をはじめ、清水町民の皆さま、そして長年にわたり町民の安全安心のため尽力されました消防団の諸先輩方のおかげであり、心より感謝申し上げます。



防災訓練に向けた署との合同訓練



シンフォニー（滋賀県）

「第24回全国女性消防操法大会 出場～新たな挑戦」

高島市消防団 女性分団 分団長 山内 陽子

皆さん、こんにちは。この度は、高島市消防団女性分団について紹介する機会をいただき、大変ありがとうございます。高島市は滋賀県の北西部に位置し、びわ湖の水の1/4が生まれると言われるほど自然が豊かなところです。

私達の分団は、消防団本部付けの女性消防団として、平成20年に発足しました。救急救命、防火啓発活動、保育園での防災イベントなど、少人数の団員でもできることに取り組んできました。8年間で2回ほど地元の消防操法訓練大会で、軽可搬ポンプ操法の展示ができた程度でした。

しばらくして「2年後、全国女性消防操法大会に出ることになりました」と告げられた時は、女性消防団員全員が不安だらけ。そんな私達がどう変わったか、お話したいと思います。

消防団幹部や消防職員の皆さんから、熱心に指導いただいたものの不安は払拭されません。しかし、全国大会を目指すのだからと、女性団員が増え始めたのはこの頃です。仲間が増える毎に勇気が出てきました。私達には目標があり、夢があり、消防の技術を一つ一つお弁当箱に詰めていくような気持ちになっていきました。これ以上ダメかと思っても、すぐ



全国大会

横に支え合う仲間がいること。集中できた約2年間が宝物に変わっていきました。

大会当日、全国各地からはつらつとした女性消防団のチームが一堂に集い、それぞれの技術を競いました。私達のチームは激励賞をいただきました。一方、大会に出場することが目標でないことに気付かされました。これほどの経験を積ませていただいたからには、何とか地域に恩返しを。皆の共通の想いになったと思います。

集まる機会が制限されたコロナ禍。消火栓からの放水訓練は継続しました。令和4年度に、団本部付けから単独の女性分団になり、男性と同じ活動を行うようになり、新たな挑戦が始まりました。火災現場の経験を積むこと、合同訓練や点検に当たることもあります。

幸いその後も女性消防団員は増加して

います。今期から避難所の運営でアドバイザーの任務に当たれるよう、訓練を始めています。万が一の時、高齢者や子供や妊婦さんなどに配慮した運営ができるように、心をつにしています。

女性消防団員の活動には、様々な壁がありますが、18名の女性分団は、とても前向きで、穏やかに明るく努力を重ねています。この度、「何度か体験してから入団したい」と相談がありました。面談して、個々の事情や背景など伺いました。できる限り対応できるよう努めたいと思います。

最後になりますが、私達が保育園訪問や地域のイベントで使用している、紙芝居、クイズやカルタは、すべてオリジナルで団員の心を込めた手作りです。貸出しもしております。もしよろしければご利用いただけると幸いです。



消火栓取扱訓練



年末警戒街頭啓発



保育園訪問



カルタ



シンフォニー（熊本県） 「消防団員としての決意を胸に」

津奈木町消防団 平国女性分団 分団長 ミツ石 ひとみ

私たちの町は熊本県の南部に位置し、西は美しいリアス式海岸に、東南北の3方は山に囲まれた温暖な地域です。以前から農林漁業が盛んな地域で、海岸線の傾斜地には、甘夏みかんやデコポンなどの果樹園が広がり、不知火海ではタイやヒラメ、フグの養殖や、太刀魚やチリメンの漁が盛んに行われています。

また、町では「緑と彫刻のあるまちづくり」に取り組み、町内には16体の彫刻群があり、つなぎ美術館を中心とした、芸術家と町民によるアートプロジェクトなどの活動も行われています。

私たち平国女性分団は、全国的に珍しい女性だけの分団として、昭和26年に熊

本県で初めて結成され、現在、分団長以下16名で男性消防団員と同様の活動を続けています。

発足の経緯としては、昔から漁業の盛んな海浜地区で、男性が出漁している間に「残された老人・子どもを火災や災害から守れるのは自分たちだ」と、自ら立ち上がったのがきっかけです。

私たちの活動は、①防火思想の普及促進と啓蒙活動 ②機械器具点検や水利点検 ③各種行事で行われる規律審査や放水競技等への参加 ④火災時の消火活動 ⑤災害時の炊き出し など、多岐にわたっています。

毎年度初めには、同じ地域を担当する他の分団と合同で水利点検を実施してお



町消防点検パレード



町消防点検規律審査

り、火災時の消火活動が円滑に行えるよう、場所の把握や施設に異常など無いか確認を行っています。

4月に行われる町の消防点検では、他の分団と同様に規律審査・放水競技に参加しており、両競技ともに優勝経験があるなど、男性分団に引けをとらない実績を残してきました。

隔年で行われてきた熊本県女性消防操法大会の際は、家庭持ちの団員が大半を占める中、大会前の約2カ月間、投光器を使って夜間に練習を行い、支部の代表として大会に参加してきました。過去には、全国女性消防操法大会に当分団員で組織したチームで出場し、優勝した実績もあります。

最近では発生件数が減り、出動の機会も減っておりますが、火災発生時には男性同様に消火活動に当たるため、自分達の積載車を有しています。実際に山林火災への出動経験もあり、万が一に備えて放水訓練も定期的に行っています。



熊本県女性操法大会

令和2年7月豪雨では、本町でも各地で土砂崩れや浸水被害が発生し、私たちの担当する地域では、3名の方が亡くなってしまった大規模な土砂崩れが発生しました。その際は、避難住民や捜索隊の方へ炊き出しを行い、連日の活動のサポートを行いました。



令和2年7月豪雨時の炊き出し

このように、私たち平国女性分団は、他の男性分団と同様の活動を行っており、有事の際に活躍できる分団であると自負しています。

しかし、私たちの分団に限ったことではありませんが、少子高齢化による団員数の減少が大きな悩みの種となっており、団員確保に向けた勧誘や広報活動に一層力を注ぐ必要があると思っています。

今後も、消防団員として地域住民の生命・財産を守るという決意を胸に、日頃から地域の方の支えになっていければと思います。

「令和5年7月豪雨」秋田市消防団の活動について

秋田県秋田市消防団 団長 永澤 靖雄



1 秋田市消防団の概要と水害対応への取組

秋田市消防団は、1本部5方面隊32分団で構成されており、令和5年10月1日現在、1,604名の団員が在籍し、地域防災力の中核として市民の安全安心のため日々活動しています。

当市消防団における装備充実強化として、令和2年度から全分団員へ救命胴衣およびレインウェアを計画的に配備するとともに消防団の役割の多様化や地域の特性に対応するため、消防団員が住民の避難誘導、逃げ遅れた方の救助をすることを想定し、市消防本部協力のもと救命ボートおよび救命胴衣の取扱い訓練を定期的実施することで水害対応能力の向上に努めています。



市消防本部との水害時対応訓練に取り組む団員

2 災害概要と被害状況

当市では、7月14日から7月19日にかけて、活発な梅雨前線の影響により断続的に雨が降り続き、7月15日の24時間降水量が330mmと観測史上最大を記録し、この1日だけで7月の総降水量に匹敵する降雨となったほか、48時間降水量が400mmを超えるなど、市内全域で記録的な豪雨に見舞われました。

この豪雨による河川の氾濫や内水氾濫により、市街地が広範囲にわたって冠水し、地下道の水没や土砂崩れ等による交通網の寸断、さらには病院を含む建物の浸水被害が多数発生したほか、住宅被害も10月11日現在で、7,899件(床上浸水4,609件、床下浸水3,290件)確認されており、市民生活や経済活動に深刻な影響を及ぼしました。

当市消防団においても、分団の器具置場が浸水したほか活動中を含む消防団車両2台が水没するなど、消防団活動が思うようにできなかった地域もありました。

しかし、これだけ甚大な被害だったにも関わらず、死者行方不明者等の人的被害がなかったことは、唯一の救いです。



市街地における道路冠水状況



消防署前の道路冠水状況



平常時



橋の崩落



道路への土砂崩れ

3 秋田市消防団の活動

秋田市消防団の活動としては、各分団が警戒を強化し災害発生時には即応体制がとれるよう準備するとともに、管轄地域での避難広報、巡回、排水、土のう積み等の活動を行いました。その中でも、巡回活動中に発生した救助活動事案について3つご紹介します。

事案1

「冠水により27名が取り残されている。」という無線を傍受したため、付近を巡回していた分団車両数台で分団長以下7名が現場に出動した。

現場に到着すると、消防署員が救命ボートで取り残された住民の救助活動を行っていたため、その活動補助を行った。その後も、救命ボートによる救助活動補助、そして避難施設内への誘導を繰り返し行い、取り残されていた住民を全員無事に避難させた。

事案2

道路上で手を振る住民を発見したため向かったところ、その先の道路上に水没車両と胸まで濁流に浸かった状態の要救助者2名を発見した。

一刻を争う状況の中、現場団員の判断により、救命胴衣を着装し要救助者の救出活動を行うとともに救急車の要請を行った。現場団員数名で、濁流の中にいる要救助者のもとへ向かい、介添えしながら安全な場所へ救出し、救出後は救急車到着まで消防団車両内で待機させ、毛布による保温を行った。

事案3

冠水した道路上で水没した車両とその近くで立ち往生している関係者を発見した。団員数名で近づいてみると、車両の後部座席に60歳代女性が水圧によりドアを開けることができず車内に閉じ込められていた。

車両はタイヤが隠れるほど水没しており、車外にいた関係者だけではドアの開放が困難な状況であった。団員1名がドアを開けようとしたが開放できず、周囲の水位が上昇する中、3人掛かりでドアを開放し、女性を介添えしながら車外へと脱出させた。

女性を観察すると明らかな外傷はないものの、恐怖と不安から憔悴しており、女性の体を支えながら安全な場所まで救出した。救出後も、現場周辺に進入してくる一般車両が多数おり、更なる被害が予想されたため、分団長指示のもと団員数名を現場に残し、危険回避のため車両誘導を行った。

4 復旧活動について

記録的な大雨による市街地の冠水状況が比較的落ち着いた7月18日、被害が甚大だった地域へ各分団員が集結し、緊急的な復旧活動を行いました。突然の招集要請にも関わらず45名の消防団員が集結し、水没した畳や家財の搬出、道路上の土砂のかきあげ、車両の移動等を行いました。

また、8月中は秋田市社会福祉協議会と協力し、消防団による復旧活動を継続しました。被災した団員も多かったことから、団本部、各分団へは希望制での参加を依頼し、各地域における被災宅からの家財搬出、災害ゴミの搬送、居室内清掃等を1日5名平均で行いました。



住宅街に山積した土砂のかきあげ



床上浸水宅からの畳搬出

5 おわりに

今回の記録的な大雨を通じて、地域防災における消防団の重要性を再認識しました。毎年のように全国各地で発生する大雨災害は、もはや通常災害として対応していかななくてはなりません。そのためにも、引き続き市消防本部との連携強化を図りながら、更なる水害対応能力の向上に努めて参ります。

消防団の現況

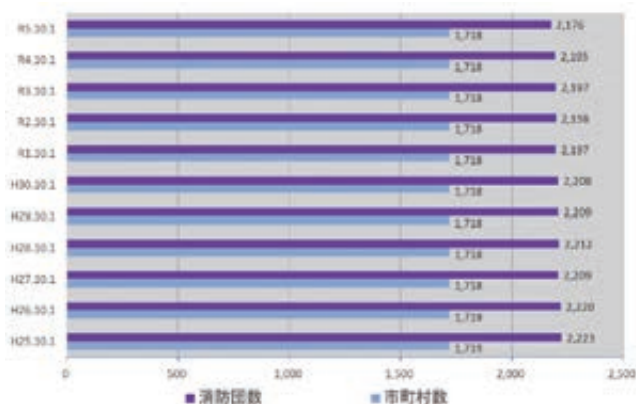
(公財)日本消防協会

1 消防団数の動向

平成10年代は、平成の合併に伴う消防団の統合などで減少が続いていましたが、平成20年代に入ると合併も一段落したことから、消防団数の減少幅は年々縮小傾向となっています。

令和4年は2,195団(前年比2団減少)、令和5年は2,176団(前年比19団減少)となっています。

【表1】



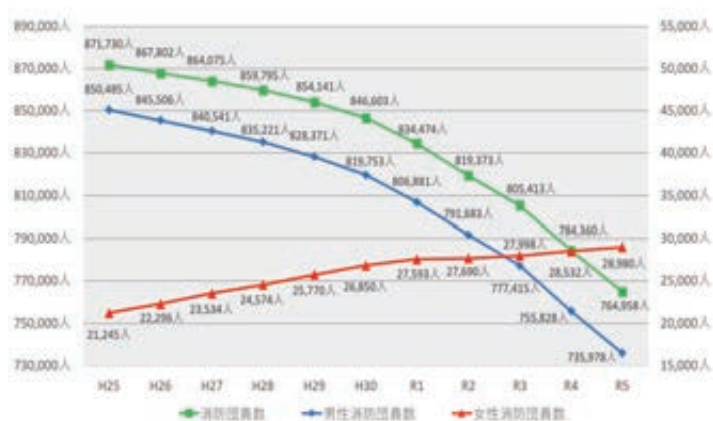
【表1】市町村数及び消防団数の推移
(各年10月1日現在 日本消防協会調べ)

2 消防団員数の動向

消防団員数は、社会環境の変化(少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化等)から減少が続いています。

令和5年の消防団員数は、764,958人であり、前年に比べ19,402人減少しています。女性消防団員は増加傾向にあるものの、全体としては平成25年以降10年間で106,772人減少、うち平成30年からの5年間で81,645人の減少となっています。

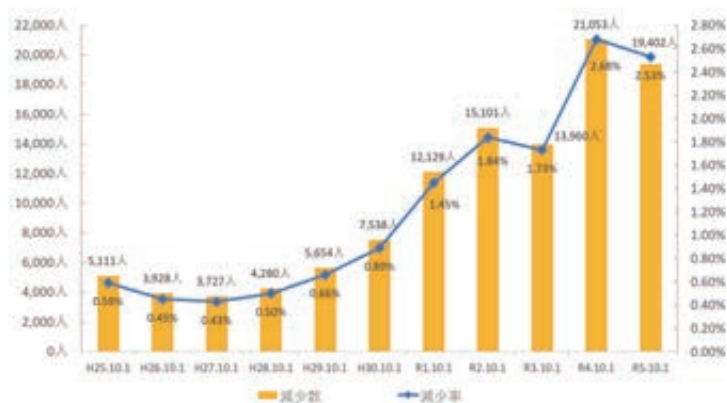
【表2・表3】



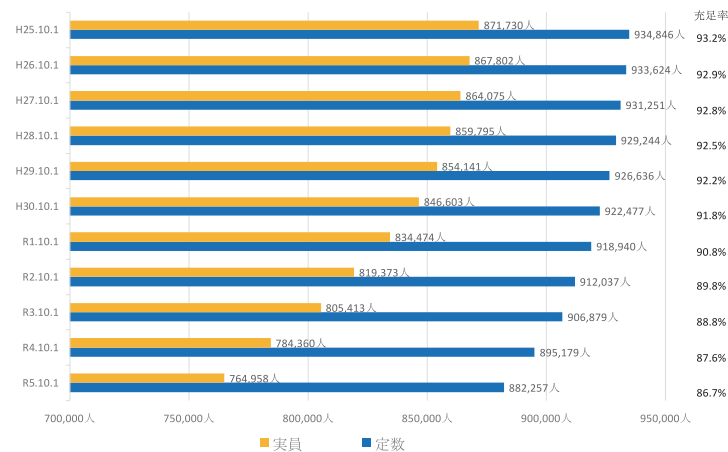
【表2】消防団員数の推移
(各年10月1日現在 日本消防協会調べ)

このように毎年、団員数は全国的に減少傾向にあるなかで、様々な消防団員確保(消防団への加入促進、消防団の処遇改善、消防団の装備・教育訓練の充実等)に取り組んでおります。昨年に引き続き今年も1県で消防団員数が増加しました。

なお、令和5年の定員に対する充足率は86.7%で令和4年の87.6%と比較して0.9ポイント低下しました。【表4】



【表3】消防団員数減少数及び減少率の推移
(各年10月1日現在 日本消防協会調べ)



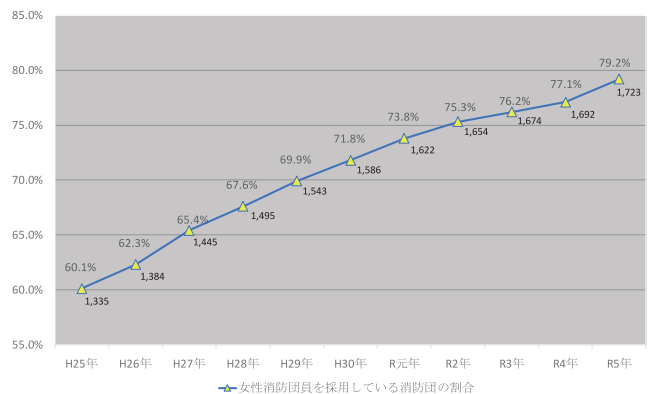
【表4】消防団員数充足率の推移
(各年10月1日現在 日本消防協会調べ)

3 女性消防団員

女性消防団員を採用している消防団は年々増加しており、令和5年は1,723団（全消防団の79.2%）で、前年より31団増えています。【表5】

地域の安心・安全の確保に対する住民の関心の高まりなどを背景に女性消防団員の活動も多様化しており、災害時における後方支援活動、住宅用火災警報器の設置促進、火災予防の普及啓発、住民に対する防災教育・応急手当指導等、多岐にわたって活躍しています。

また、近年では、女性消防団員も各分団に所属し火災現場での消火活動など基本的に男女問わず同じ活動を行う消防団も増加しています。



【表5】女性消防団を採用している消防団数及び割合の推移
(各年10月1日現在 日本消防協会調べ)

令和5年度(第23回)「防火防災に関する」 作文コンクールの審査結果について

(生協)全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会では、毎年全国の中学生を対象とした「防火防災に関する」作文コンクールを行っています。

各都道府県の支部から、「消防団、明るく元気な地域とともに」を作文のテーマとし、選抜された作品37点の中から、当共済会において厳正な審査を行った結果、最優秀賞に山梨県甲州市立塩山中学校2年 増田 涼乃さんの作品が選ばれました。また、優秀賞には2名の方が、佳作には7名の方が選ばれました。

今年度もたくさんのご応募ありがとうございました。

佳作以上の10作品は、「防火防災に関する」作文コンクール入賞作品集にして、全国の消防関係機関、市町村役場、支部推薦中学校等へ配布いたします。

最 優 秀 賞 (1名)

山 梨 県	甲州市立塩山中学校	2年	増 田 涼 乃 さん
-------	-----------	----	------------

優 秀 賞 (2名)

福 岡 県	福岡市立三筑中学校	2年	長 島 颯 さん
-------	-----------	----	----------

富 山 県	立山町立雄山中学校	1年	松 井 花 奈 さん
-------	-----------	----	------------

佳 作 (7名)

栃 木 県	下野市立南河内小中学校	8年	上 野 夏 凜 さん
-------	-------------	----	------------

熊 本 県	芦北町立湯浦中学校	2年	中 尾 はずき さん
-------	-----------	----	------------

栃 木 県	下野市立南河内小中学校	8年	伊 澤 丈 桜 さん
-------	-------------	----	------------

福 岡 県	大牟田市立甘木中学校	3年	廣 田 礼 那 さん
-------	------------	----	------------

三 重 県	亀山市立関中学校	3年	大 澤 孝太朗 さん
-------	----------	----	------------

鹿 児 島 県	出水市立出水中学校	2年	下 藺 虹 空 さん
---------	-----------	----	------------

茨 城 県	河内町立かわち学園	7年	野 口 虎 我 さん
-------	-----------	----	------------

最優秀賞

山梨県

甲州市立塩山中学校 二年

増田 涼乃

安心、安全なくらしを地域全体で

私の大叔母は、女性消防団員を二十一年間勤めました。入団したきっかけは裾野市が新しく女性消防団を発足するため、男性消防団員の友人に誘われたからだそうです。全てが初めてのことばかりで、誰も何もわからず、手探りでスタートでした。人のため、地域のためと自覚が出てきたのは数年後だったと話してくれました。

正直、私は消防団の仕事の内容を知りませんでした。地域内で火災が起きた時に消防士の手伝いをする人たち、というあいまいな認識だけでした。

「おばちゃんは消防団で何をしていたの？」私は初めて大叔母にたずねました。

「男性消防団員と女性消防団員の仕事は少し違うのよ」

と消防団について説明をしてくれました。男性消防団員は火災の時に出勤、女性消防団員は火災予防の啓発活動と応急手当の指導が主な仕事。団員はそれぞれ自分の仕事を持ちながら、地域のために時間を割いて勉強や訓練をしているのだと教えてくれました。

裾野市では夏に一度大きな花火大会が行われます。私は毎年その花火大会がとても楽しみでした。現地に行くと、消防団の制服を着たたくさんの方々が広い運動場を見回っています。そこ

で大叔母に会うのも当たり前のことでしたが、今考えると、消防団員の方々は、みんなの安全を守るために、何日も前から打ち合わせをし、準備をしていたのだろうと、ありがたい気持ちになりました。

最後に大叔母に入団して良かったことは何かとたずねました。大叔母は、

「応急手当指導員になったこと、そしてたくさん仲間が出来たことかな」

と話してくれました。

私たちの地域で活躍してくれている消防団のみなさんがいることを、私たち子供がもっと知るべきだと思いました。火事を起こさず消防団のみなさんの仕事が増えないことが一番ですが、災害時の備えも大人だけでなく、私たちから発信出来ればもっと広がると思います。

小学校、中学校の授業やレクリエーション、地域の集まりなど、直接消防団員の話を聞いて、私たちに必要なことを勉強に取り入れるべきだと考えました。地域全体で心掛ければ安心かつ明るい町になると思います。

今、私に出来ることは何か、私たちが行動すべきことは何か、地域全体で考えていきたいです。そして、消防団のみなさんと共に、安心安全で明るい町にしたいです。



津波による被害の防止

総務省消防庁 防災課

東日本大震災をはじめ、我が国はこれまで幾多の大地震とそれに伴う巨大な津波による被害を受けてきました。今後も、南海トラフ地震や日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等による津波被害の発生が懸念されています。

消防庁では、令和3年5月の災害対策基本法改正を踏まえ、津波からの避難指示の発令基準等を含む「避難情報に関するガイドライン」に基づき、地方公共団体に対し、

- ・津波による被害を軽減するための指定緊急避難場所、津波避難タワー等の整備を適切に行うこと
- ・津波発生時の避難は原則徒歩によるが、自動車により避難せざるを得ない場合が想定される場合には、避難者が自動車で安全かつ確実に避難できる方策を検討すること
- ・津波警報、津波注意報等の住民への適切な伝達手段を確保すること
- ・津波警報、津波注意報等が発表された場合には、基本的には避難指示のみを発令するなど、避難指示の発令基準を適切に設定すること
- ・具体的かつ実践的な津波避難訓練を行うよう努めること

を要請しています。

また、令和4年1月のトンガ諸島の火山噴火に伴う津波警報等の発表を踏まえ、地方公共団体に対し、

- ・遠地地震による津波については、必要に応じて津波警報などの発表前であっても防災体制の確保や、避難準備を呼びかけるための高齢者等避難の発令を検討すること
- ・海外で大規模噴火が発生した場合や、大規模噴火後に日本へ津波の伝わる経路上で潮位変化が観測された場合も、遠地地震による津波の場合と同様の対応をとること

を要請しています。

津波による被害を防ぐため、強い揺れや、弱くても長い揺れがあった場合には、直ちに、津波災害に対応した指定緊急避難場所や高台など

の安全な場所へ避難する必要があります。

このため、いざというとき津波から円滑に避難することができるよう、住民がそれぞれの津波避難の方法等を検討しておくことが重要です。

実際に避難行動をとる住民の皆様一人ひとりが、「自分の命は自分で守る」といった自覚を持ち、日頃から津波避難訓練等に参加いただくようお願いします。

津波による災害の防止

地震が発生した時は「**直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所へ避難する**」ことが重要です。

- ➡「自分の命は自分で守る」といった津波防災意識を高くもち住民一人ひとりが主体的に行動することが大切です。

※ 地震発生後、短時間で津波が沿岸部に到達する可能性があります。



「揺れたら逃げる」



「警報を聞いたなら逃げる」

津波避難誘導標識システムによる記載例



女性防火クラブの活動の紹介と 参加の呼び掛け

総務省消防庁 地域防災室

女性防火クラブは、家庭での火災予防の知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的に地域で活動している組織です。令和4年4月1日現在、全国で6,966団体、約105万人のクラブ員の皆さんが熱心に活動されています。

女性防火クラブの活動

女性防火クラブの主な活動の一つが火災予防への取組です。地域住民や児童・生徒などに対する火災予防知識や防災製品の普及啓発を始め、消火器の取扱訓練など実演を通して、火災予防技術の向上に貢献しています。特に、住宅用火災警報器の設置や維持管理では、イベントを通じた呼び掛けや地域において住宅用火災警報器を共同購入するなど、積極的な活動が実施されています。

また、地域の防災に関する取組においても幅広い活動が行われています。平常時には、地震時の家具転倒防止に関する知識の普及啓発、応急救護訓練の実施、消防団等と連携した地域の防災訓練への参加等が行われています。

他方、災害発生時には、避難誘導、避難所における炊き出し支援等が実施されており、家庭や地域の防災力向上に大きく貢献しています。東日本大震災においても、避難所での炊き出し支援や被災地への義援金・支援物資の提供等の支援活動が各地のクラブで行われました。また、平成28年熊本地震においても、避難所における炊き出し等の支援が行われました。

さらに、災害発生時の避難などの際に支援が必要となる避難行動要支援者に配慮した地域づくりの一環として、避難行動要支援者宅への日常の家庭訪問による防災点検や、災害時の避難誘導（そのための日頃からの訓練）なども実施されています。

こうした活動は地域コミュニティの活性化にも繋がることから、クラブ員の皆さんの知識・経験やネットワークを活かした支援活動に対して、大きな期待が寄せられています。

連携によるメリット

女性防火クラブの活動は、他の地域のクラブとの連携や情報交換により一層の充実が期待されており、令和4年4月1日現在、43道府県において女性防火クラブの連絡協議会が設立され、クラブ間の意見交換や合同研修など様々な交流が行われています。

また、地域防災を担う消防団や自主防災組織、民生委員や社会福祉協議会などの地域の関係機関・団体との連携を深めることも重要であることから、合同での防災訓練や意見交換など、日頃から顔の見える関係づくりを行うことで、いざという時のスムーズな協力体制の構築が図られています。



火災予防運動に伴う防火広報
写真提供：岡山市女性防火クラブ連絡協議会
(岡山県岡山市)

活動の活性化に向けて

女性防火クラブは地域の防火・防災について重要な役割を担っており、火災や地震等の災害発生時には、地域に根ざした女性の方々による活動が非常に大きな力となります。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念と連帯意識の下、火災や災害に強い安心・安全なまちづくりのため、より多くの方々に女性防火クラブの活動を知っていただくとともに、積極的に参加していただきたいと考えています。

11月9日は「119 番の日」

正しい119番緊急通報要領

～いざという時に慌てないために～

総務省消防庁 防災情報室



11月9日は「119 番の日」

消防庁では、消防に対する正しい理解と認識を深めるとともに、防災意識の高揚、地域ぐるみの防災体制の確立に資することを目的として、昭和62年より11月9日を「119 番の日」としています。

119番通報をする際の留意点をまとめましたので、いざという時に慌てないために、御活用ください。



How to 119番通報

緊急時に自分や周囲の人の身体や命、財産等を守るために、119番通報は、重要なものです。119番通報に当たっての留意事項を紹介します。

①通報前の留意事項

<火災の場合>

通報している場所まで煙や火が拡大するなど危険が迫っている場合には、すぐに避難し、安全な場所から通報してください。

<救急の場合>

交通事故等、周りに危険が迫っている場合には、すぐに避難し、安全な場所から通報してください。

また、急な病気やけがをしたとき、病院に行くタイミングや救急車が必要なか判断に迷うことがあると思います。そんなとき、どう対応すればいいのか判断の手助けをしてくれる「全国版救急受診アプリ」[Q助(きゅーすけ)]を消防庁は無料で公開しております。「Q助」では、該当する症状を選択していけば、緊急度に応じた対応が表示され、その後、医療機関の検索(厚生労働省の「医療情報ネット」)にリンク、受診手段の検索((一社)全国ハイヤー・タクシー連合会の「全国タクシーガイド」)にリンク)が行えます。「救急通報のポイント」[「ためらわず救急車を呼んで欲しい症状」]、「救急車の呼び方」を掲載した「救急車利用マニュアル」等と併せて御活用ください。また、自治体によっては、急なけがや病気の際に、専門家が相談に応じる電話相談窓口(＃7119等)を設置しているところもありますので、御確認の上、御相談ください。

②通報時の留意事項

119番通報をしたら、通報を受けた消防職員から「火事ですか?救急ですか?」と聞かれた後、次のような情報をお尋ねしますので、落ち着いて回答してください。

<火災の場合>

- ・発生場所(住所・階層・近くの目標物等)
- ・何が燃えているか?
- ・逃げ遅れた人はいないか?
- ・通報者の氏名・電話番号

<救急の場合>

- ・発生場所(住所・階層・近くの目標物等)
- ・誰がどうしたのか?
- ・通報者の氏名・電話番号

<事故の場合>

- ・発生場所(住所・近くの目標物等)
- ・どういう事故か?
- ・けが人や閉じこめられている人はいるか?
- ・通報者の氏名・電話番号

なお、適切な医療機関に搬送するため、傷病者の年齢、持病、かかりつけの病院等をお尋ねする場合や、電話を通じて傷病者への応急手当(心肺蘇生やAED)等をお願いすることがあります。

③携帯電話からの通報にかかる注意

例えば、県境等の付近から携帯電話で通報した場合には、消防本部が119番通報の転送を行う場合があります。もし、通報を転送すると言われた場合、そのまま通話を切らずにお待ちください。なお、転送ができない場合は、通報した方に転送先の消防本部の電話番号を案内するなどの対応を行っています。

通信障害などによって、携帯電話等から119番通報がつかない場合には、公衆電話を利用する、近隣の方やお店に119番通報を依頼する、消防署に直接駆け込むなど行ってください。日ごろから公衆電話の場所や使い方を把握することも大切です。

④「050」から始まるIP電話等の注意

「050」から始まる電話番号を割り当てられている電話からは、原則、119番通報ができません。自宅のIP電話や、利用している通話アプリが緊急通報に対応しているか、契約している電話事業者に確認してください。対応していない場合は、「050」から始まる電話以外の電話から通報するか、お住まいの地域を管轄している消防本部の電話番号を控えておきましょう。

⑤音声以外の119番通報

消防では、耳が聞こえない、言葉が話せない等の事情で音声による119番通報が困難な方が、円滑に火災や救急等の通報を行えるよう、スマートフォンのタッチ操作で通報できるNet119緊急通報システムの導入を進めているほか、手話通訳オペレータを介した「電話リレーサービス」による緊急通報、FAX、電子メール等による通報も受け付けています。利用可能な通報手段は地域によって異なりますので、お住まいの地域を管轄する消防本部にお問合せください。



119番通報の訓練をしよう!

火災現場や救急の必要な場面に遭遇したときには、落ち着いて119番通報することが大切です。しかし、いざというときに、冷静に必要な情報を伝えるのは難しいことです。このため、多くの消防本部では地域の消防訓練等にあわせて、119番の通報訓練も行っています。一度、通報訓練を体験しておけば、実際の通報時には大変有効となりますので、御希望の場合には、お近くの消防署に御相談ください。

うちの

名物団員



北海道

日高消防団 班長

福嶋 史雄

北海道日高消防団からは、福嶋史雄班長を紹介いたします。

日本有数の馬産地として広く知られる日高町に暮らす福嶋班長は、生業である塗装業の傍ら、消防団員として活躍しており、節目となる団員歴20年を迎えた令和4年度には全国消防操法大会に北海道代表の指揮者として出場し入賞に導くなど、正にリーダーとして団員を引っ張る存在です。



南伊豆町消防団第3分団 団員

田村 ロータス翔音^{ショーン}

伊豆半島最南端に位置する南伊豆町消防団からは、田村ロータス翔音を紹介します。以前から南伊豆町の海・山の虜になり移住したいと思っていたところ、無農薬のレモン栽培を行うプロジェクトに申込み、2年ほど前から地域おこし協力隊として活動しています。

土地柄や住民の温かさに惹かれ、地域からの誘いもあり令和5年4月から消防団員となりました。現在は、鳥獣被害対策として、わなの狩猟免許取得に向けて頑張っています。地域の伝統継承を大事にし、地域から愛されている翔音の活躍を今後も期待しています。



静岡県

米原市消防団からは、早川鉄兵団員を紹介します。

早川団員は石川県金沢市生まれ、米原市へ地域おこし協力隊員として移住しました。

切り絵作家として、市内外の様々なイベントに出展されている市を代表するアーティストです。

今後とも地域の安全安心を守っていただくとともに、切り絵で地域を盛り上げていただくことを期待します。



美作市消防団が紹介するのは、東栗倉方面隊で市民の安心安全を守るため頑張る大坊副分団長です。

平時は市職員として、有事の際は消防団員として熱心に活動するタフガイです。その姿勢は地域において信頼が厚く、PTA会長や役員を歴任しています。民俗芸能の伝承にも尽力され、また、農作物を荒らす鹿や猪を駆除するハンターとしても活躍しています。趣味のバイクには並々ならぬ情熱を注ぎ、ご夫婦でのツーリングも楽しまれているとか。



※岡山県クレイ射撃場にて撮影

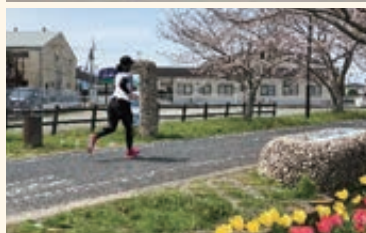


佐賀市消防団南部方面隊川副支団女性部から、園田由美部長を紹介します。女性部は団員15名で、広報活動や1人暮らしの高齢者への呼びかけ、防火パトロール、心肺蘇生法の訓練などの活動を行っています。ここ数年はコロナ禍で思うような活動はできませんでしたが、「出来ることから少しずつ」と、取り組んでいます。

園田部長は介護施設で働いており、業務で火災時の消火訓練や避難訓練をしていく中で地域の消防団との連携の重要性を感じ、消防団に入団されました。施設の為だけでなく、地域にも貢献できればと頑張っておられます。また地域貢献として、パトロールランニングや少年補導員としても「出来ることから少しずつ出来るとき、出来ることを」をモットーに活動されています。

また、介護の仕事も消防団活動も身体が資本!! その身体づくりのためにマラソンやロードバイク等アクティブに活動されています。

今後も女性消防団だからできることを模索し、地域の為に更なる貢献をしていただくことを期待しています。



阿蘇市消防団 第10分団 団員

ごう よしひさ
郷 良尚

「緑いきづく火の神の里」阿蘇市からは、郷団員を紹介します。

郷団員は普段、市役所の防災情報課に勤務し、地域の生命・財産を守るために日々努めています。



阿蘇市は、山に囲まれた地域となっており、山林・原野火災がよく発生します。

郷団員は、普段から登山道など自然の中を走る「トレイルランニング」を趣味としているため、山林火災の際には、持ち前の知識を活用できるため、うってつけの人材です。

郷団員は「トレイルランニング」で鍛えた持ち前の精神力と体力を生かして、この町を守っていききたいと語っています。

今後も熱い思いで、地域の防災リーダーとして活躍することを期待しています。



日高消防団
副団長

三上 博司



日高町は北海道日高地方西部に位置し、水質日本一を獲得した清流「沙流川」に満たされた肥沃な大地を礎に日本有数のサラブレッド生産地として、また、ホッカイドウ競馬唯一の開催地である門別競馬場を抱え、地方競馬の雄として名高い門別地区(旧門別町)と北海道の屋根「日高山脈」の北端、日勝峠の麓に広がる日高地区(旧日高町)が平成18年に合併し誕生した日本一遠い飛び地(約60キロ)の管内人口1万人強の町です。

日高消防団は団本部を筆頭に4分団で構成され、団員数129名(令和5年8月1日現在)が本業の傍ら、定例訓練や有事の際の消火活動など幅広く活動しています。

令和4年度には日高消防団として初の全国

消防操法大会出場を果たし、北海道代表では24年ぶりとなる優良賞を受賞することができました。

当地域は過去に水害や台風被害、近年では平成30年胆振東部地震などの自然災害を幾度となく経験しており、これらの経験から地域における防災意識の向上が喫緊の課題ととらえ、特に幼少期から成長の中に防災教育を組み込むことで「防災を当たり前」にすることを目標に、団本部所属の女性団員(11名)と消防署、管内保育機関とタイアップし幼児に対し「防災ダック」を実施しています。

「防災ダック」とは幼児向けの防災教育用カードゲームで声を出して遊びながら防災や日常の危険から身を守ることを学ぶことができるもので、団員、消防職員でミーティングや事前練習を実施するなど、趣向を凝らし毎年実施しています。

成長過程に防災への意識・知識を植え付けることで「防災が当たり前」という、より強い郷土となることを目指し、今後も「防災ダック」を続けていきます。



2023年度 全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

編集後記

女性パワー全開の「第25回全国女性消防操法大会」が4年振りに開催されました。前回の横浜赤レンガ倉庫広場での会場から東京都有明の都心が一望できるエリアの防災公園での開催で、参加された皆さんも応援に訪れた皆さんも、コロナ禍を経て思い思いの東京大会を経験されたと思います。この大会での裏方役になる審査員・会場運営担当者の皆さんも全国各地から駆け付け、ご協力を頂いたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。協会に研修生として派遣されていた懐かしい先輩方と顔を合わせると、離れていることを忘れさせてくれる貴重な時間に感じられました。日本全国にこのようなつながりが持てること、広がっていくことに研修の意義を考えさせられる紅葉の季節となりました。

今年も残りわずかとなってきたこの時期に、来年はどんな年になるかと思いを巡らせながら、また今月も編集に追われる今日この頃です。何かとイベントが多くなる師走に向けて、体調を崩さないように気を付けなければならないですね。(T.M)

全国女性消防操法大会は晴天のもと開催されました。その前日夜の激励交流会においては、出場予定の女性団員の皆さんが今大会の黄色のTシャツをお揃いで着ておられ、とても生き生きと「映えて」おられました。各県選手代表による決意表明も圧巻。駆け付けていただいた消防応援団や入団促進サポーターの皆さんもすごい人気ぶりで人だかりができていました。当日の大会の様子はもちろんですが、この交流会の盛況ぶり及び「映え」具合も掲載記事や各種写真では是非ご覧ください。

また、今年も集中豪雨が各地を襲いましたが、7月豪雨時での秋田市消防団の活動についての災害報告の記事をお願いしました。

それにしても、新会館の完成の遅れ、数日は本当に脱力しましたが、また、各自が気持ちを持ち直して新たな完成時期に向け、それぞれの立場で前を向いて頑張り出しています。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。(Y.T)

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,496円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9401

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けています。 kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十六巻第十一号
令和五年十一月五日印刷
令和五年十一月十日発行

編集人 田中 豊
発行所 (公財)日本消防協会

東京都港区東新橋一丁目十九番
電話 〇三(6263)九四〇一(代)

印刷所

東京都中央区銀座七丁目一六―二
株式会社アイネット
電話 〇三(3549)五六〇〇

消防人の 火災共済

風水雪害等共済金 補償倍率UP 300倍から750倍へ

**消防団員
消防職員
ならどなたでも
加入できます**

まさかの時お役に立ちます。

地震等災害見舞金付

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い

1500倍補償

B型火災共済

**消防団
消防本部**

毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害にも対応!! 建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部（消防協会）へ。

**お支払
対象**

●火災共済金

●風水雪害等共済金

●地震等災害見舞金

火災・落雷・爆発・破裂
 風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等
 地震・津波・噴火



ひまわりしているか
ひのようじん

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率（年1.25%）、配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万円（ゆうちょ
銀行は五千元）から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金（6種類）又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金（脱退一時金）
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

（パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先）

公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00～17:00

お問い合わせ先

(公財)日本消防協会

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19
ヤクルト本社ビル内
TEL.(03)6263-9401 (代表)
<https://www.nissho.or.jp>

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会